33 01 04 01 05 003

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年06月28日（月）

事務事業	未熟児養育事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3352
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画施策分野別名 大項目	200001 健康でいきいきと暮らせるまち（子育て・保健・福祉）	根拠法令個別計画等	母子保健法 深谷市母子保健法施行細則 深谷市未熟児養育医療給付実施要領 深谷市未熟児訪問指導実施要領				
中項目	200002 健やかで元気に暮らせるまちづくり						
小項目	200001 健康づくりの推進						

事業概要	本事業は、医療を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療の給付を行うとともに、訪問指導等を通じて、未熟児のすこやかな成長と保護者への育児支援を行うものである。
目的 ※何のために	未熟児のすこやかな成長を図るため。
対象 ※誰・何を対象に	未熟児とその保護者
手段 ※どのように	未熟児養育医療の給付、未熟児訪問指導を行う。
成果 ※何を求めるか	未熟児のすこやかな成長を図るため、未熟児とその保護者に対して未熟児養育医療の給付、未熟児訪問指導等を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減、未熟児特有の養育を理解し子育て意識の醸成に繋がる。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	05	母子保健費	未熟児養育事業	12,234,438
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・未熟児養育医療の給付	・
・未熟児訪問指導	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	15,029,000	15,029,000	12,529,000	12,247,000	11,015,000	11,015,000
	決算額	8,399,557	7,193,893	10,474,009	12,234,438	0	0
財源内訳	国支出金	3,268,800	3,813,600	4,086,000	0	4,225,000	4,225,000
	県支出金	1,634,400	1,906,800	2,043,000	1,901,250	2,112,000	2,112,000
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	1,576,642	1,090,310	1,290,941	2,198,390	2,550,000	2,550,000
	一般財源	1,919,715	383,183	3,054,068	8,134,798	2,128,000	2,128,000
人件費	従事職員数（人）	0.26	0.28	0.48	0.25	0.22	0.22
	人件費相当試算 ※1	2,022,540	2,178,960	3,890,400	2,034,000	1,789,920	1,789,920
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		10,422,097	9,372,853	14,364,409	14,268,438	12,804,920	12,804,920

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標１	未熟児訪問回数	目標値	回							■
			実績値		21.00	29.00	31.00	43.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		未熟児の出生数により変動するため設定できない							
		訪問回数（延べ）									
■	成果指標１	養育医療券の交付数	目標値	件							■
			実績値		36.00	32.00	37.00	36.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		申請による交付であるため目標値の設定はできない							
		交付数									
□	成果指標２	養育医療医療給付件数	目標値	件							■
			実績値		87.00	69.00	90.00	105.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		未熟児１人あたりの養育医療給付件数は児の状況により変わるため設定できない							
		養育医療給付延件数									
■	成果指標３	養育医療給付額	目標値	千円							■
			実績値		8,383.00	7,179.00	9,369.00	11,791.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		申請による交付であるため目標値の設定はできない							
		養育医療給付額（市支弁額）									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 品胎の出産が２組あり、極小未熟児が例年より多い傾向だったため、未熟児訪問も増加した。未熟児は発育発達面だけでなく、保護者の精神的・身体的負担も多く、児の入院中から保護者支援が重要である。
成果 （意図した成果が上がっているか）		目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 未熟児養育医療の対象者は、児の出生体重や疾病等の状況により、給付件数、養育医療給付額が変わるため、変動が大きい。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	第１係長　吉野真弓　第２係長　小井土和美

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	未熟児の特性などを学ぶことで、発育発達の課題や保護者の心理面などに寄り添った支援ができるよう研修などを活用し、知識の習得に努める。
達成状況 及び その効果	研修等で知識の習得に努めるほか、未熟児に接する中で得ることができた知識を職員間でも、共有し支援することができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	未熟児養育事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3352

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

今年度は、極小未熟児や疾病を持った児の出生もあり、長期入院や退院後も医療的ケアなど関係機関との調整が必要な児の支援を実施した。また、長期的に継続した支援を必要とする未熟児の保護者に対しても、家庭訪問等で支援に努めることができた。

評価者	次長兼保健センター所長　清水　良保

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

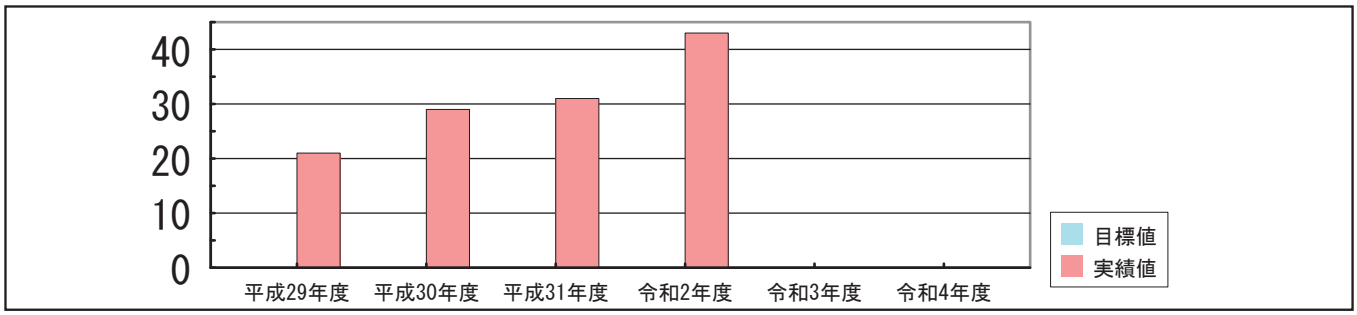
改善・改革案	未熟児の特性などを学び、発育発達の遅れや保護者の精神的負担感などに寄り添った支援ができるよう、知識の習得に努める。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

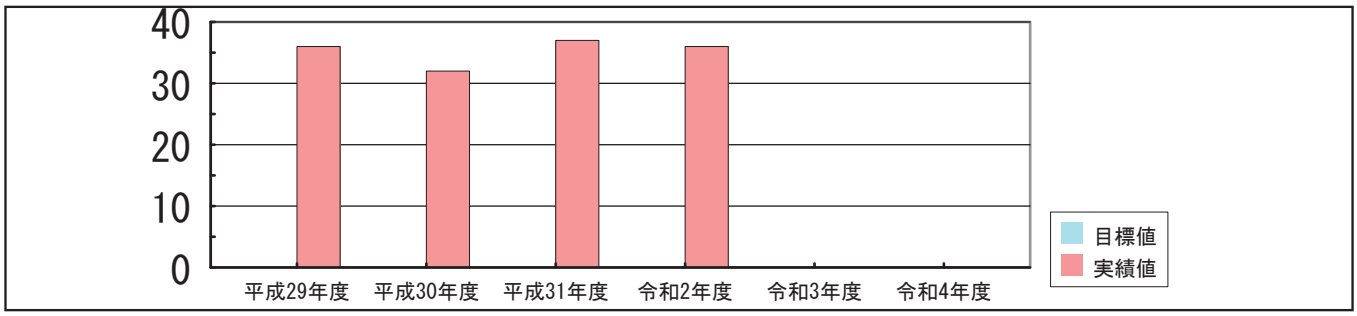
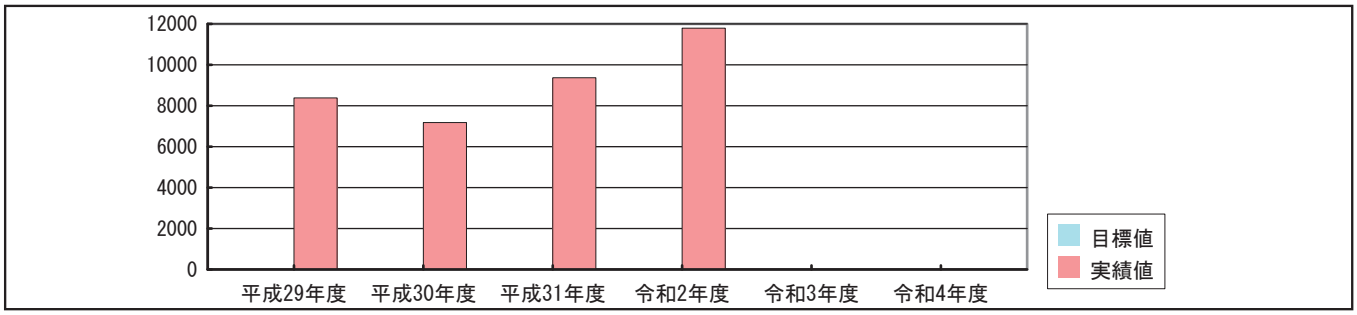
今後の課題	品胎など妊娠中から児が未熟児となる可能性のある妊婦に対し、妊娠中から支援を行い、産後の身体的・精神的負担の多い時期の育児不安などに対応できるように、妊娠期から産後まで継続的に支援していく体制が必要である。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	未熟児訪問回数



区分	成果指標１	指標名	養育医療券の交付数



区分	成果指標３	指標名	養育医療給付額